



広報

しんち

9月1日現在
()内は前月比



2,080世帯 (-1)



男 4,417人 (-5)

女 4,566人 (-4)

合計 8,983人 (-9)

184号

61

10



若者マップ ③

新地高校家庭クラブ

(左から) 佐藤弥生さん(家庭クラブ部長)、大和田憲子先生、片平玲子さん、渋谷智子さん

毎週日曜日、10年間もオムツをたみ続けてきたクラブがあります。新地高校家庭クラブの皆さんは、山元町の国立療養所宮城病院を交たいで訪ね、体の不自由な子供たちが使う六千枚ものオムツをたみ続けてきました。

九月二十一日、この日も三人のクラブ員が先生をかこんで作業にあたっていました。隣の部屋からは、子供たちの話し声や泣き声が聞こえてきます。

「こういう活動ができて、本当によかったと思います。」

「新地高校のクラブでは家庭クラブが一番活躍しています。」と佐藤部長が作業をしながらの話は、はずみです。先生と生徒のコミュニケーションにも、とてもよいようです。クラブでは、町内の一人暮らしの老人の訪問や年賀状・暑中見舞などの活動も行っており、こうした活動が認められ、このほど県社会福祉大会会長から感謝状が贈られました。



町長 荒 和 英

初心にかえり全力投球

二期目にあたって

「知恵くらへの時代」といわれる昨今であることから、町民各位の知恵を活用することに留意したいと存じます。

町づくりの原点は「地域」

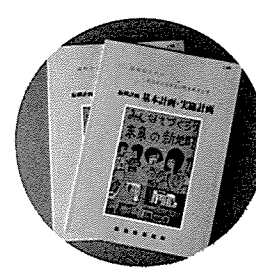
また、町政推進の基本的な心構えとして、町民との対話を積極的に、相互の理解を深めて、町民と一体的に町づくりを進めてまいりたいと存じます。



▲ 町政懇談会

第四次振興計画の実現が最優先

次に重点施策・重点事業については、まず第四次振興計画を忠実に実現することが緊要であります。その主要なものを申し上げます。



全職員一丸で町づくり

最後に町政執行にあたりましては、常に身を正して、清潔公正を旨とし、私はもちろんのこと全職員が全体の奉仕者・公僕の名に恥じないよう、住みよい町づくりのために全力を尽くすことをここに誓いし、町民皆様のご協力とご支援を心からお願ひ申し上げます。

町長選挙結果

町長選挙は無投票で再選

町長の任期満了にともなう町長選挙は、八月二十六日告示されましたが無投票で、荒町長が再選されました。

本内彰氏が当選

また、同時に行われた町議会議員補欠選挙は、三十一日投票が行われ、その結果本内彰氏が当選しました。各候補者の得票数は次のとおりです。

当 本内彰 一三六一票
荒 正敏 二〇一票

九月定例議会

名誉町民の推挙など

11議案を可決

九月定例議会が、九月十九日から二十七日までの九日間の日程で開かれ、福田出身の野地紀一氏の名誉町民推挙など十議案を審議し、原案どおり可決しました。

議案の主な内容は次のとおりです。

◆名誉町民の推挙

新地町名誉町民条例に基づき議会の同意を求めたもので、福田出身の野地紀一氏（清水建設代表取締役会長）を推挙しました。

◆監査委員の選任

監査委員と教育委員を選任するため、議会の同意を求めたもので、それぞれ次の方が選任されました。

◆60年度水道事業決算認定

60年度水道事業決算認定（4・5ページに特集しました。）

郷土の誇り

名誉町民に推挙された
野地紀一氏



現在、清水建設株式会社代表取締役会長で、建設業界をはじめ、各種団体の委員（会長）として幅広く活躍されており、建設業功勞により勲二等瑞宝章、藍綬褒章、福島県在住功勞者知事表彰を受章されるなど、新地町民が郷土の誇りとして深く尊敬に値する方です。

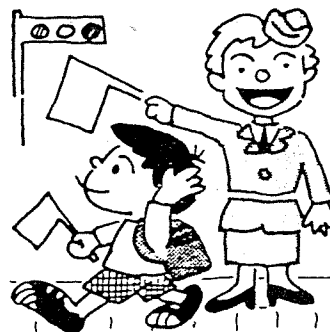
特に、新地町勤勞青少年ホームの建設に尽力したほか、町内の小学校へ寄付をするなど、教育文化の振興のために、多大の貢献をされています。

名誉町民の推挙式は11月3日に行われる予定です。

新地町交通安全総ぐるみ大会

記念講演 「家庭教育と交通安全」
学校法人モラロジー研究所講師 堀内 鉄 雄 氏
元 郡 山 市 教 育 長

と き 10月24日(金) 午後1時30分
と ころ 新 地 小 学 校 屋 体



第10回を迎えた新地町交通安全総ぐるみ大会が開催されます。

大会では、交通安全功勞者の表彰、交通安全に関する提言、宣言などを行うほか、第10回を記念して、学校法人モラロジー研究所講師で元郡山市教育長の堀内鉄雄氏をお招きし、講演会を行います。

今年の相馬警察管内の交通事故による死亡者は七人と、昨年一年間の死亡者四人を大幅に上回っています。

こうした状況の中で、地域から、職場から、そして家庭から交通事故をなくし、明るい社会を築きましょう。

講演会は午後二時三十分ごろからの予定です。お誘い合わせのうえ、どうぞご来場ください。

第10回



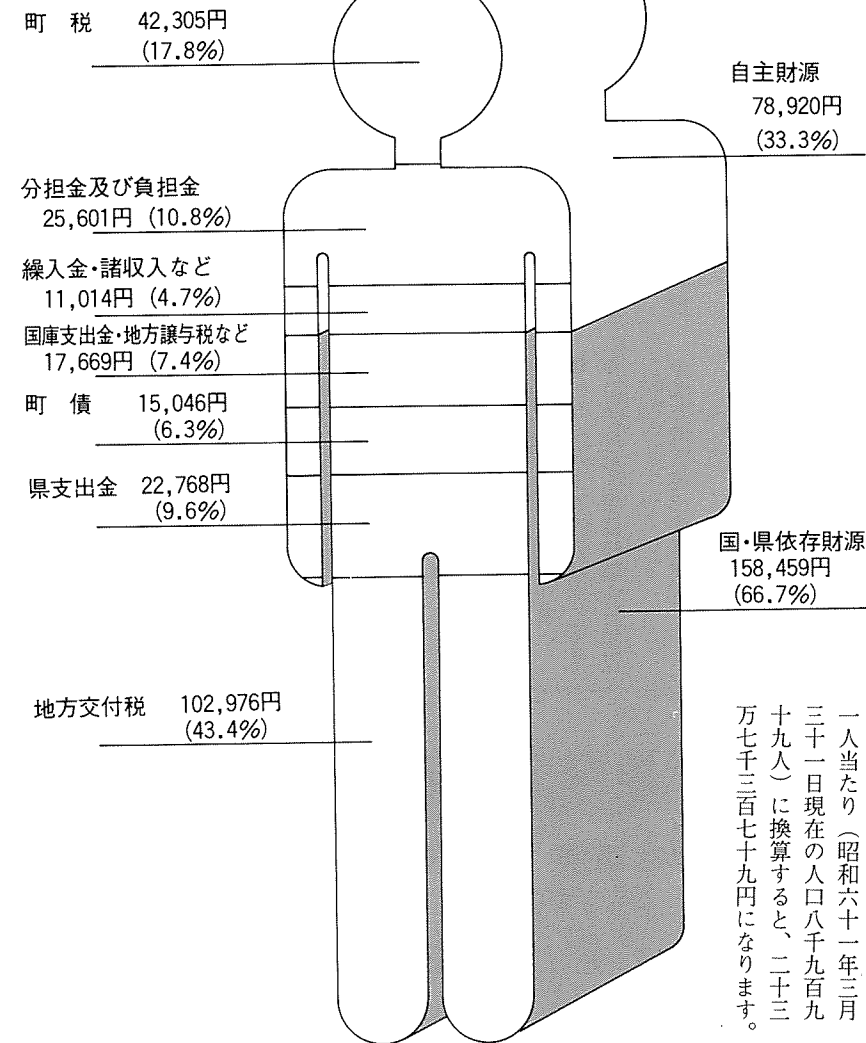
町の家計簿

昭和60年度決算

一人あたり 233,904円

歳出総額は21億490万5千円

〔I図〕



昭和六十年度の一般会計の歳入歳出決算が、九月定例町議会で認定されました。これをみると、決算の規模は歳入で二〇・二%、歳出で一九・一%といずれも前年度を上回り、その主なものは、相馬地域開発関連事業の都市下水道整備や公共施設整備事業となっています。

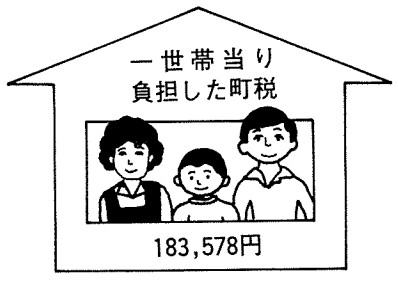
決算額は、歳入が二十一億三千六百七十四千円、歳出が二十一億四千九百五十九千円で、三千二百六十九千円の残となっています。

町の決算は皆さんが納めた税金がいくらで、どのように使われたのか、またどのような町づくりを行ってきたのかを示すたいせつなものです。

ここでは、よりわかりやすくするために、町の歳入歳出を町民一人当たりの額におきかえて、グラフにしました。町の財政運営について考えてみましょう。

歳入
一人当たり 237,379円

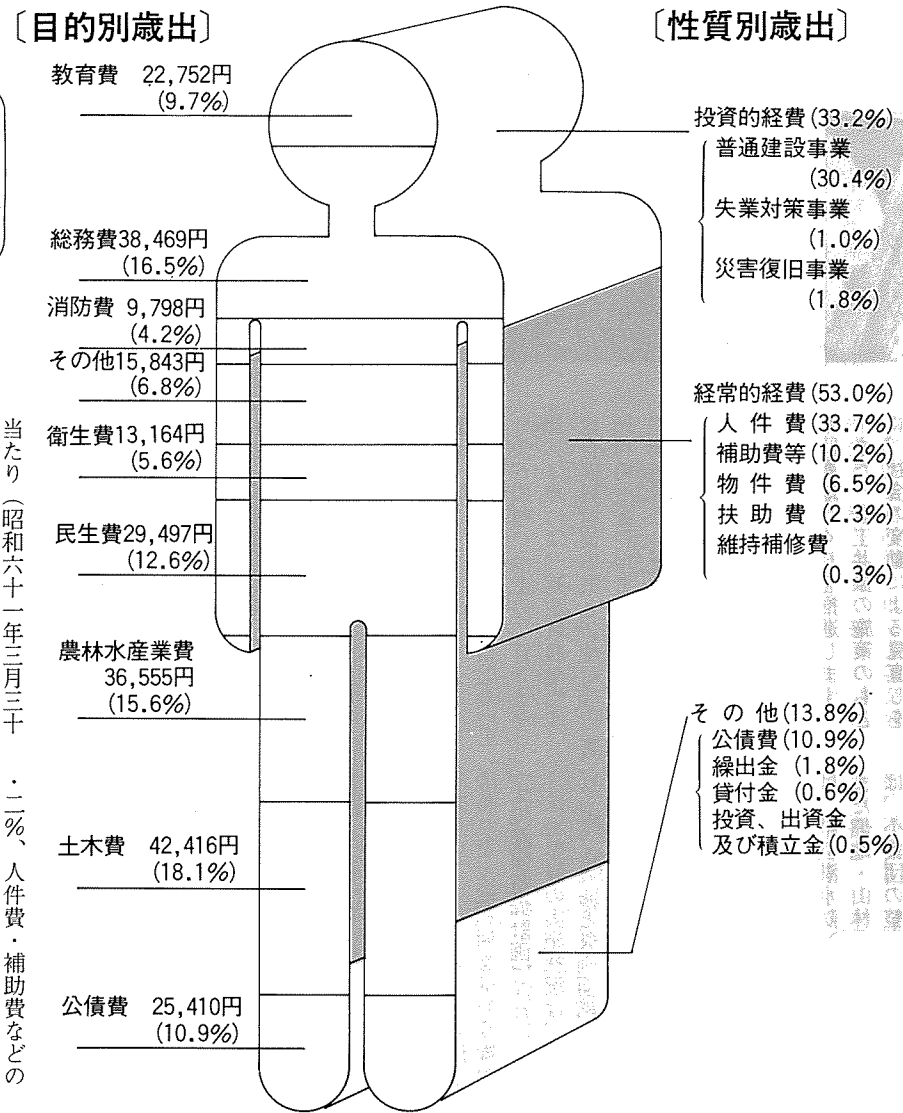
歳入総額は、二十一億三千六百七十四千円で、これを町民一人当たり（昭和六十一年三月三十一日現在の人口八千九百九十九人）に換算すると、二十三万七千三百七十九円になります。



これをさらに歳入の種類別にグラフにしたのがI図で、自主財源は三三・三%の七万八千九百二十円（町税四万二千三百五十六円・分担金及び負担金二万五千六百一円など）、国・県依存財源は六六・七%の十五万八千四百五十九円（地方交付税十万二千九百七十六円、県支出金二万二千七百六十八円など）となっています。

ところで、昭和六十年度は国の予算編成において、国庫補助負担率の引き下げが行われ、町の負担が増加しました。しかし、この増加分については地方交付税の増額、建設地方債の増発によって補填され、財政運営に支障をきたすことはありませんでした。

〔II図〕



歳出
一人当たり 233,904円

歳出の総額は二十一億四千九百五十九千円で、これを町民一人

当たり（昭和六十一年三月三十一日現在の人口八千九百九十九人）に換算すると、二十三万七千三百七十九円になります。

これをさらに、性質別歳出と目的別歳出に分けてグラフ化したのがII図です。

はじめに、性質別歳出をみると、普通建設事業や失業対策事業などの投資的経費は三三

・二%、人件費・補助費などの経常的経費は五三・〇%となっています。

次に、目的別歳出をみると、最も多かったのは一八・一%の土木費（四万二千四百十六円）、次いで総務費の十六・五%（三万八千四百六十九円）、農林水産業費の十五・六%（三万六千五百五十五円）となっています。

主な事業

- ◆町道
 - 作田塚浜線道路改良工事11,170千円
 - 深町背中振線道路改良工事14,223千円
 - 北畑線道路舗装工事 5,900千円
 - 谷地田真弓線道路改良工事 5,400千円
 - 中里上真弓線道路舗装工事 5,060千円
- ◆農村総合整備モデル事業
 - 萩崎古屋敷線（橋梁）32,598千円
 - 駒ヶ嶺小学校線道路整備工事11,643千円
 - 小川坂越前田線農道整備工事11,900千円
- ◆開発
 - 武井跨道橋新設事業負担金 100,000千円
 - 相馬地域開発関連公共公益整備事業85,862千円
- ◆その他
 - 都市下水道工事請負費64,522千円
 - 松くい虫防除事業11,642千円
 - 地域沿岸漁業構造改善事業補助金16,446千円



豊かなくらしを開く

産業の振興

第4次振興計画 III

昭和六十五年度までの町づくりの指針となる、第四次振興計画を三回に分けて紹介してきました。今回は、その最終回です。

- 今日は、
- ・町の基盤産業である「農業」
 - ・自然をまもる「林業」
 - ・釣師漁港の整備と、育てる漁業で近代化をめざす「漁業」
 - ・相馬地域開発を核とした「工業」
 - ・地域住民の情報交換の場としての「商業」
 - ・釣師浜海水浴場と鹿狼山を中心とした「観光」
- など、豊かなくらしを開く産業の振興について見ていきます。

ほ場整備・近代化施設の整備で、ゆるぎない基盤産業に

■農業

農業は、町の基盤産業として、今後も振興につとめて行きます。具体的には、新地域農業生産総合振興対策事業と新地町農用地利用増進利用計画を基本に、振興をはかります。

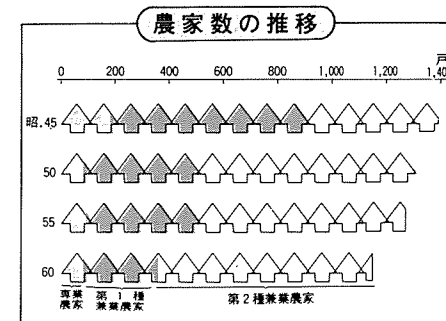
【農用地利用計画】

農用地の基盤整備をはかり、大型機械が利用できる条件を整備して効率的に利用するほか、集団農地づくりを推進します。また、農工共振の施策のもとに、社会の変動による見直しを

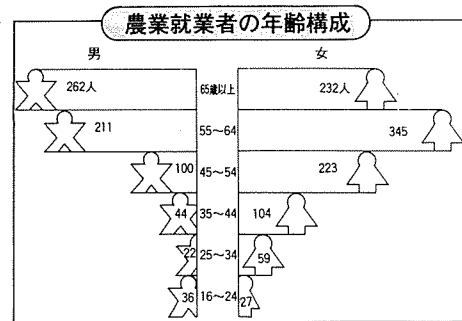
考慮しながら、他産業との調和のとれた土地利用をはかります。

【土地基盤整備計画】

ほ場整備の実施状況は、四百五十九・五haと計画面積の約六十％に達しています。今後も県営並びに団体営ほ場整備事業により、区画整理、暗渠排水、用水路などの整備を進めます。排水不足の解消には、松ヶ房ダムの早期完成、浜地帯の湛水は、県営湛水防除事業を促進し、また畑地・山林・原野については、小集団の整備と集団化によ



資料:1986年農業センサス



資料:1986年農業センサス

斬新な行政を指向

■行政

第四次振興計画の実現をはかり、情報化・国際化・高齢化など、社会全体を総合的観点からとらえ、今後の行政を推進します。

- ・「行政改革大綱」を基本に、行政全般の見直しと点検を行い、簡素効率化をはかります。
- ・行政と町民の機能分担のうえに、両者一帯の町づくりを推進します。

- ①地域の課題解決に重点をおいた行政
- ②コミュニティ組織の育成と、地域づくりの拠点活動

- ・職員の資質向上をはかります。
- ・社会の進展に即応する、行政組織の改善をはかります。
- ・民間活力の導入をはかり、公社設立について検討をすすめます。

■財政

今後も厳しい財政が続くと予測されますが、幸い、本町は火力発電立地にとりまなう「電源立地促進対策交付金事業」に期待を持つことができますので、この要素も組み入れ財政計画を策定しました。

事業の重点選別・補助金の適正化・行政の簡素化をはかり、今後とも緊縮財政をすすめる方針です。

地域の総合開発

相馬地域開発がかぎ

■工業

経済情勢の低迷で、大きな進展はありませんでしたが、既存企業の工業出荷額は経営努力で着実にのびています。

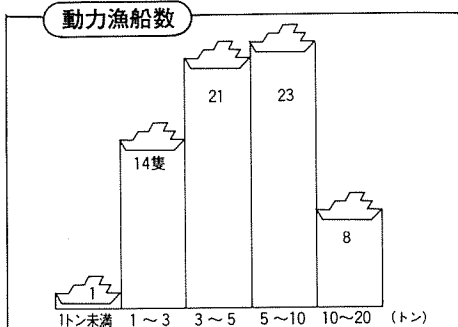
新地北工業団地は、工業用水、電力(特別高圧)、工業排水路、道路舗装などの条件整備を進め優良企業の導入につとめます。

相馬地域開発計画は、工業再配置構想を基本とし、工業開発を軸とする地域の総合開発を行い、地域の進展をめざして推進してきました。

この計画は、電源地帯工業団地としての流通拠点、エネルギー港湾としての相馬港の整備、工業団地開発による産業振興、石灰火力発電所の建設、幹線道路の広域ネットワークづくりなど産業配置の変化に対応した開発構想です。

■商業

商店街の整備は、地域住民の情報交換の場としての機能を備えた商店街で、駐車場・街路な



資料:第7次漁業センサス

【農地の流動化】

・農業委員会の幹旋事業を基本に、農業経営に積極的な意欲をもつ農家に対して農地幹旋を行います。

- ・担い手農家・生産組織の強化育成をすすめるため、委託・受託あるいは賃貸借、利用権設定などについて積極的な指導援助を行い、兼業農家を含めた組織づくりを推進します。

【農業経営形態の改善】

主要作物を中心とした複合経営の確立・水田利用再編成と合わせ、食糧需要の動向に即した農業生産の再編成をはかります。

- ・農業近代化施設の整備
- ・農業基盤の整備に対応した施設の充実、集落を中心とした生産体制の整備、施設機械を効率的に利用できる規模の設備を配置します。

【農村環境整備計画】

昭和五十二年度に策定した、農村総合整備計画に基づき、居住環境の改善・集落排水路の整備・防災施設の整備・集落道路・農道の整備・交通安全施設の整備を行います。

また、農村婦人、農業後継者の指導・育成をはかり、農業経営の合理化と地域農業の振興をはかるため、農村環境改善センターを建設します。

大地震発生 各地で火災 想定

昭和三十九年十月三十日福島県浜通り地区は、昨夜からの北西の風が強く、平均風速は一五メートルに達し、連日の晴天続きにより空気が乾燥しており午前六時三十分福島地方気象台から強風ならびに異常乾燥注意報が発令された。注意報発令下の午前八時三十分ごろ、浜通り地方にかなり激しい地震があり震源地は福島県沖で震源の深さは四十キロメートルと推定される。各地の震度は、小名浜で六、福島・白河で五、会津若松で



災害に備える 家族ぞるって参加しましょう

新地で総合防災訓練

豊かな水に恵まれ、四季の变化の美しい日本。しかし、その一方で、台風の通り道にあたり、地震が多いという「泣き所」を抱えていることも忘れてはなりません。

八月四日・五日の集中豪雨はわたしたちに、大自然のこわさを教えてくれました。災害はい

つおころかわかりません。もし、わたしたちの住んでいる町に大地震がおきて、家が倒壊し、水道も電話も電気も使えず、あちこちから火災が発生、ケガ人もかなり出ている……：：：：：そうした想定のもとに、十月三十日、相双地方総合防災訓練が新地町で開催されます。

四と発表され、浜通りでは特に被害が大きく、家屋が多数倒壊し水道、電話、電気等の施設も損壊し各地で火災が発生しケガ人も出た模様である。

この地震により、第四区に津波警報が発令され地域住民及び船舶は避難したが避難が遅れた釣人が防波堤に孤立した。

防災訓練実行程表(予定)

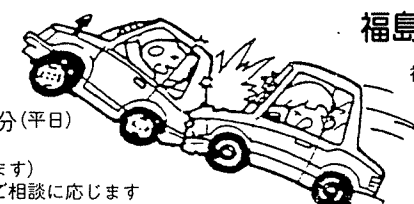
予定時間	9:00-9:20	9:25-9:40	9:44-9:52	9:58-10:05	10:08-10:33	10:35-10:42
訓練順序	① (20分)	② (15分)	③ (8分)	④ (7分)	⑤ (25分)	⑥ (7分)
訓練場所	尚英中学校グラウンド	尚英中学校	新地小学校	新地町役場	改善センター予定地	丸屋駐車場
訓練種目	開会式	通報、避難、初期消火救助救出救急	通報避難誘導救助救出救急消火	重要物品搬出、避難初期消火消火	炊き出し給食水道、電話、電力無線通信	避難誘導初期消火
予定時間	10:44-10:51	11:01-11:06	11:16-11:23	11:28-11:43	11:50-12:10	
訓練順序	⑦ (7分)	⑧ (5分)	⑨ (7分)	⑩ (15分)	⑪ (20分)	
訓練場所	丸屋東広場	砂子田川	釣師地区及び又屋駐車場	釣師浜漁港	釣師漁協前広場	
訓練種目	車両火災消火救助救出救急	水防	避難誘導初期消火防火線設定	津波広報避難船舶避難消火人命救助	閉会式	

いざというときにあわてないためにも、ふだんから防災について考え、家族みんなで訓練に参加しましょう。



交通事故のご相談は
お気軽にどうぞ
無料でご相談に
応じております

午前9時30分～午後4時40分(平日)
土曜日は正午まで
(第2・第3土曜日は休みです)
◎専門の相談員が親身になってご相談に応じます
◎弁護士相談日：毎週木曜日午後1時～4時



社団法人 日本損害保険協会
福島自動車保険請求相談センター

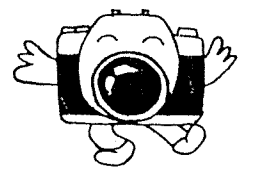
福島市栄町10-21 住友生命福島ビル5階
福島調査事務所内

☎(0245) 21-1295 (直通)
☎(0245) 23-3471

電話のご相談もお受けします

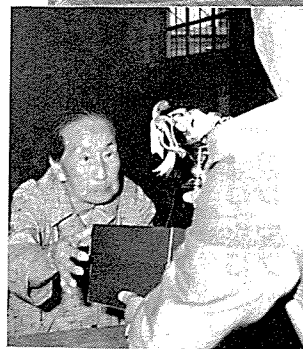
トピックス

トピックスは、町内での話題をカメラリポートするコーナーです。みなさんのまわりにある話題を、役場総務課までお寄せください。



▲ 二期目のスタート、荒町長初登庁(9月26日)

今回の町長選挙で、無投票で再選された荒町長が、9月26日全職員の拍手に迎えられ初登庁しました。



新横綱 寺島エナヨさん(小川)



長寿夫婦 氏家清二さん(今千)



▲ 大相撲父親参観場所(福田保育所)



▲ 花の苗を植える小川老人クラブの皆さん(全県一斉社会奉仕の日)

敬老会 9月15日開催された敬老会では、はじめに長寿番付の新横綱代表寺島エナヨさん(90歳)と、長寿夫婦代表氏家清二さん(84歳)・トメさん(80歳)と、夫婦にトロフィーを贈り、続いて民謡・舞踊・カラオケなどのアトラクションで楽しいひとときをすごしました。



8/21~9/20

届 出

▷ 出生 (届出は14日以内に)

おめでとうございます。

(子供) (親) (地区)

- きみ 阿部 豊 新町
- 翔子 目黒 隆久 小川
- 努 菅野 重男 作田
- 慎 吾 渡辺 祐吉 鉄炮町
- 有加里 荒 昭美 木崎
- 達人 寺島 博文 城内
- 澄人 目黒 信夫 明地
- 友美 佐藤 俊秋 今泉
- 哲志 香西 信一郎 小川

▷ 死亡 (届出は7日以内に)

おくりやみ申し上げます。

(死亡者) (年齢) (地区)

- 鈴木 文雄 79才 菅谷
- 伊藤 はる 93才 埴浜
- 伊藤 貞雄 79才 埴浜
- 柏 幸一 42才 原相善
- 渡部 カメヨ 85才 洪民

今月の納税等

国民健康保険税 第四期
固定資産税 第三期
水道料 福田地区と岡、杉目地区

納期限は 10月31日です。
※忘れずに納めてください

9月のもえないゴミ収集状況

もえないゴミは毎月15日~17日(日曜・祝日・雨天のときは翌日)に収集してあります。収集日の朝8時30分まで、指定の場所にルールを守って出しましょう。

収集場所	完全収集	収集できないゴミ			収集場所	完全収集	収集できないゴミ		
		出しおくれ	記名なし	分別不良等			出しおくれ	記名なし	分別不良等
15日収集地区	作田公会堂前	○		2	16日収集地区	富倉公会堂前	○		
	作田農協倉庫前	○				城内大森正男宅北側	○		
	埴浜長塚智雄宅北側	○				駒ヶ嶺町河原栄一宅前	○		
	釣師北畑水防倉庫前	○		7		上ノ町八巻克也宅北側	○		
	大戸浜公会堂入口	○	3	1		新町遠藤商店前	○		
16日収集地区	今泉水防倉庫前	○			17日収集地区	沢口公会堂前	○		
	今神公会堂前	○		16		鉄炮町火の見前	○		1
	今藤崎公会堂前	○				明地火の見前	○		
	中里公会堂前	○				明地火の見前	○		1
	木崎火の見前	○				上山田バス停前	○		
木崎公会堂前	○			上真弓水神十字路北側	○				
中島公会堂前	○			下真弓公会堂前	○		1		
町営住宅内	○		1	岡公会堂前	○		16		
小川公会堂前	○		1	杉目集荷所北側	○	3	1		
原相善加藤末吉宅東側	○		2	菅谷公会堂前	○				
				高田公会堂前	○				

(9月19日調べ)

わかちあう幸せ

赤い羽根共同募金
10月1日~12月31日

町民大運動会
10月10日(体育の日)

家族を誘って参加しましょう。
(雨天時12日に順延)

休日当番医

(相馬市内)

- 10月
- 10日 羽根田医院 ☎352970
 - 12日 立谷病院 ☎366611
 - 19日 菅原医院 ☎386036
 - 26日 今野内科医院 ☎355432
- 11月
- 2日 三田医院 ☎353355
 - 3日 大井医院 ☎352627

- 23日 田中直紀衆議院議員災害見舞に来町、巨理・山元・新地・伊達市の懇談会
- 22日 老人クラブ輪投げ大会
- 22日 斎藤邦吉衆議院議員災害見舞に来町、県副知事災害視察のため来町
- 25日 退職公務員連盟新地方部総会
- 25日 総務常任委員会
- 25日 相馬地域開発建設促進調査特別委員会
- 25日 相馬地方市町村会、広域圏組合正副管理者会
- 25日 藤崎・岡部落運動会、福田婦人会・老人会交流会
- 25日 相馬港湾建設促進期成同盟会総会
- 25日 8・5集中豪雨災害対策陳情
- 12日 県出先機関との懇談会
- 14日 尚英中・新地保育所運動會
- 15日 敬老會
- 17日 常磐自動車道仙台延伸のため建設省との懇談会
- 18日 九月定例議案

町長日記
荒 和英